

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	中丹地域有害鳥獣処理施設管理事業			事業コード	210153	
政策体系	基本政策	8 市一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち		政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立	
	施策名	2 有害鳥獣対策の推進			施策コード	832
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課		所属長	藤澤 稔	
会計情報	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費
	会計	01 一般会計		決算付属資料	172 頁	
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市鳥獣被害防止計画
					R4現在の状況	継続中
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (綾部市及び舞鶴市との共同経営)					
関連事業	有害鳥獣捕獲事業、スマートシティ推進事業(有害鳥獣捕獲)					

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	有害鳥獣により増加する農作物被害を軽減させるため、共通の課題を抱える中丹3市(福知山市、綾部市、舞鶴市)の共同利用施設として設置した「中丹地域有害鳥獣処理施設」の適正な管理運営を行うことにより、駆除隊員の埋設労力負担を軽減し捕獲意欲の増進を図り、農作物被害の軽減を推進する。					
対象者	福知山市有害鳥獣駆除隊員	対象者数	218	単位あたりコスト	270.9	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()					
委託先・実施主体等	PSSユニオン					
事業概要 (箇条書き)	◇捕獲された有害鳥獣の個体を保管している、一時保管庫から回収する。 ◇大江町三河に設置した、有害鳥獣処理施設に運搬し、焼却処分を行う。 ◇焼却残渣を、福知山市・綾部市・舞鶴市に分け、各市の処分場に運搬する。 ◇焼却施設等の維持管理業務を行う。					
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容			
	需用費	20,636	電気代、上下水道代、灯油代、消耗品購入費、修繕料			
	役員費	157	ゴミ廃棄等手数料、共済基金分担金			
	委託料	26,375	施設維持管理委託、自家用電気工作物保安管理委託			
	使用料及び賃借料	111	ネット通信料、冷凍庫用地借地料			
	工事請負費	6,820	焼却設備改修工事			

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	58,094	51,916	64,219	115,202				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	58,094	51,916	64,219	115,202					
予算財源内訳	① 一般財源	23,427	27,396	36,538	68,455				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	8,100	1,700	2,100	17,600				
	⑤ その他特財	26,567	22,820	25,581	29,147				
決算情報	① 流充用額	△ 7,851	2,183						
	② 配当予算	50,243	54,099						
	③ 執行額	45,470	54,099						
	④ 執行率	90.5%	100.0%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.47 / 0.00	0.62 / 0.00	0.62 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	3,760	4,960	4,960	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	49,230	59,059	4,960	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	中丹地域有害鳥獣処理施設管理運営他市負担金	種類	雑入	実績金額	21,031	決算付属資料	48	頁
		中丹地域有害鳥獣処理施設管理事業(きょうと地域連携交付金)		農林業費府補助金		13,049		28	
		中丹地域有害鳥獣処理施設管理事業(過疎対策)		農林業債		2,300		50	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	有害鳥獣による農作物年間被害額	千円	36921 / 30000	26034 / 31242	34743 / 29247	/ 27251	27251
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	年間処理頭数	頭	8082 / 4205	9606 / 4205	9301 / 4205	/ 4205	4205
	単位あたりコスト		5.0	4.7	5.8		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>◇有害鳥獣対策は本市の喫緊の課題であり、捕獲した個体の処分をこれまで埋設していたが、本施設の設置により、埋設労力を軽減し、有害鳥獣捕獲の推進に寄与している。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>◇焼却時の燃料の灯油について、入札による単価契約を締結し、コスト削減を行っている。 (会計契約単価の75%程度)</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>◇活動実績は年間処理頭数としているが、目標より大幅に増加傾向にある。これは有害鳥獣の捕獲が活発に行われている現れである。 ◇有害鳥獣の捕獲が活発に行われている理由として、本施設により捕獲鳥獣を埋却処分する労力が軽減されたことが挙げられ、有害鳥獣の捕獲に対し大きな成果となっており、投資効果の高い事業であると考えている。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>◇駆除隊員の負担を減らすことにより、有害鳥獣捕獲の推進に寄与しているが、処理頭数が多く、焼却炉の能力の上限に近い状態で稼働しているため、焼却炉の損傷が想定よりも早くなっている。 ◇R3年度においては、成果実績としている有害鳥獣による農作物年間被害額について、目標を達成することができなかった。この要因としては、イノシシによる被害額が大幅に増加したことによるもので、豚熱の影響が生じた時期(3月)と農繁期、イノシシの出産・子育て時期が重なったことで、農作物被害が集中し、被害額については増加したものと推察している。</p>		
改善策	<p>一時保管用冷凍庫を増設するか、あるいは別の方法で、有害鳥獣の搬入が多い6月から10月の焼却処理頭数のピークカットを行い、焼却炉の長寿命化を図る。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	有害鳥獣捕獲事業			事業コード	210174		
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立	
	施策名	2 有害鳥獣対策の推進			施策コード	832	
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課			所属長	藤澤 稔	
会計情報	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	
	会計	01 一般会計			決算付属資料	172 頁	
計画期間	開始年度	平成25年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市鳥獣被害防止計画	
					R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律、福知山市鳥獣被害防止対策事業実施要綱、福知山市有害鳥獣捕獲事業デジタル種鳥獣捕獲導入補助金交付要綱、福知山市有害鳥獣捕獲隊狩猟免許取得支援事業補助金交付要綱						
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()						
関連事業	有害鳥獣防除事業、中丹地域有害鳥獣処理施設管理事業、スマートシティ推進事業(有害鳥獣捕獲)						

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	本市におけるシカ・イノシシ等の野生鳥獣による農作物被害の軽減を図るため、「福知山市鳥獣被害防止計画」に基づき、有害鳥獣駆除隊による捕獲を効果的に実施する。						
対象者	福知山市有害鳥獣駆除隊員	対象者数	211	単位あたりコスト	553.5		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()						
委託先・実施主体等	福知山市有害鳥獣駆除隊員						
事業概要 (箇条書き)	◇農作物被害の軽減を図るため有害鳥獣の捕獲実績に応じて捕獲奨励金を支払う ◇駆除隊による有害鳥獣の捕獲を実施 ◇狩猟免許の取得や活動経費に対して支援を行う ◇駆除隊員が安心して活動できるよう、ハンター保険加入費用への支援を行う						
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容				
	報酬、職員手当等	2,407	臨時職委員報酬、臨時職員手当				
	報償費	96,350	有害鳥獣捕獲奨励金、講師謝礼				
	旅費、需用費、役務費	2,216	研修・出張旅費、消耗品購入、捕獲檻修繕、郵送料等				
	委託料	4,329	有害鳥獣一斉捕獲業務委託				
使用料及び賃借料、負担金補助及び交付金	1,017	公用車賃借料、複写機使用料、狩猟免許取得支援、損害賠償保険加入支援等					

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	88,891	103,715	106,084	111,168				
	② 補正予算	0	6,170	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	88,891	109,885	106,084	111,168					
予算財源内訳	① 一般財源	54,803	59,790	59,052	63,007				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	34,076	50,083	47,020	48,155				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	12	12	12	6				
決算情報	① 流充用額	15,458	△ 50						
	② 配当予算	104,349	109,835						
	③ 執行額	103,498	106,319						
	④ 執行率	99.2%	96.8%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	1.08 / 0.00	1.06 / 0.80	1.06 / 0.80	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	8,640	10,480	10,480	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	112,138	116,799	10,480	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	対象鳥獣捕獲等参加証明書手数料	種類	農林手数料	実績金額	3	決算付属資料	14	頁
		緑の公共事業(有害鳥獣駆除関係事業)		農林業費府補助金		8,955		28	
		鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業		農林業費府補助金		40,370		28	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	有害鳥獣による農作物年間被害額	千円	36921 / 30000	26034 / 31242	34743 / 29247	/ 27251	27251
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	年間捕獲頭数	頭	3659 / 5795	6066 / 5965	6151 / 5965	/ 5965	5965
	単位あたりコスト		18.0	17.1	17.3		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	本市における有害鳥獣の駆除活動は、福知山市有害鳥獣駆除隊員に委ねている。駆除の要望は年々増加しているなど市民ニーズが高く、継続が必要な事業である。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	駆除隊員に対する報償費は、項目を細分化し、それぞれの項目が全て適切に行われたことが確認できた場合のみ、奨励金を満額支払うこととしている。適切な駆除活動が報告書等で確認ができなかった場合は、奨励金の一部を減額するなど、適切な駆除活動の推進及び効率的な駆除活動の実施を図っている。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	捕獲実績報告書に基づき、獣種別の捕獲実績を集計・把握している。活動実績は、福知山市鳥獣被害防止計画に基づく捕獲頭数であり、実績数値の管理もできている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	年間捕獲頭数は、捕獲計画頭数を超過しており、農作物被害の増加を抑えることができている。引き続き、効果的な有害鳥獣の捕獲を継続する必要がある。 R3年度においては、成果実績としている有害鳥獣による農作物年間被害額について、目標を達成することができなかった。この要因としては、イノシシによる被害額が大幅に増加したことによるもので、豚熱の影響が生じた時期(3月)と農繁期、イノシシの出産・子育て時期が重なったことで、農作物被害が集中し、被害額については増加したものと推察している。		
改善策	農作物被害の軽減に向け、地域が主体となった防除や環境管理などの有害鳥獣対策を実施していく必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	農作物被害軽減のため、有害鳥獣の効果的な捕獲を図るとともに、狩猟免許取得や活動の経費に対し支援を行うことで駆除隊員の確保を図る。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	スマートシティ推進事業(有害鳥獣捕獲)			事業コード	210175		
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち		政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立		
	施策名	2 有害鳥獣対策の推進		施策コード	832		
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課		所属長	藤澤 稔		
会計情報	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	
	会計	01 一般会計		決算付属資料	172 頁		
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市鳥獣被害防止計画	
					R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律、鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律						
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
関連事業	有害鳥獣捕獲事業、有害鳥獣防除事業						

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	有害鳥獣対策に関する先進的知見を持つ兵庫県立大学の協力を得て、有害鳥獣対策に意欲的な地域から選定したモデル地区において、ICT機器を活用した地域主体の積極的な有害鳥獣対策を推進する。また、モデル地区で得られたデータやノウハウを有効活用し、モデル地区以外の地域においても「地域主体の獣害対策」を推進させるため出前講座を実施する。 兵庫県立大と連携・協力して、ICTを活用した様々な有害鳥獣に関するデータを可視化するシステムを導入し、各地域における獣害対策の現状と課題を明確にすることで地域の獣害対策に係る意欲向上を図る。						
対象者	総農家数(2015農林業センサスデータ)	対象者数	3,915	単位あたりコスト	6.0		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()						
委託先・実施主体等	兵庫県立大学 兵庫県森林動物研究センター						
事業概要 (箇条書き)	◇ICT活用による有害鳥獣対策データ可視化システムの導入・運用 ◇シカ・イノシシの生息密度低減のための捕獲試験 ◇モデル地区への獣害対策の技術的支援・集落指導の実施支援 ◇福知山市鳥獣対策専門員に対する支援 ◇3市連携支援や福知山市獣害対策フォーラムの実施						
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容				
	需用費	427	LOGOチャットライセンス料、SDカード購入、消耗品購入				
	役務費	192	タブレット通信料、ICTを用いた檻等の遠隔監視・操作システム設置手数料				
	委託料	11,161	ICTを活用した鳥獣の科学的管理手法業務				
	備品購入費	1,840	トレイルカメラ購入、バッテリー充電器購入				

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	0	13,623	16,294	14,160			
	② 補正予算	10,000	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
小計(①～③)	10,000	13,623	16,294	14,160				
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0			
	② 国支出金	4,067	6,811	6,812	7,080			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	5,933	6,812	9,482	7,080			
決算情報	① 流充用額	0	0					
	② 配当予算	10,000	13,623					
	③ 執行額	9,705	13,619					
	④ 執行率	97.1%	100.0%					
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.45 / 0.00	1.21 / 0.00	1.21 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	3,600	9,680	9,680	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	13,305	23,299	9,680	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	スマートシティ推進事業(有害鳥獣捕獲)(地方創生推進交付金)	種類	農林業費国庫補助金	6,801	決算付属資料	18	頁
		スマートシティ推進事業(有害鳥獣捕獲)基金繰入金		基金繰入金	6,812		40	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
		「地域主体の獣害対策」取組み地区数	地区	/	0 / 0	2 / 2	/ 3
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	モデル地区獣害対策集落指導	回	/	2 / 0	13 / 12	/ 15	—
		単位あたりコスト			1047.6		
	獣害対策出前講座の実施	回	/	0 / 0	0 / 0	/ 3	—
		単位あたりコスト					

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>有害鳥獣による農作物への被害は高止まりの状況であり、各農区からの被害の声は後を絶たず、獣害対策は本市における喫緊の課題であると考えられる。また、「地域主体の獣害対策」を普及させるにあたっては、モデル地区において民・官・学が協働して先進的な対策事業に取り組み、地域主体の獣害対策の成功事例を作ること、他地域へのスムーズな水平展開に繋げることができるため、市が事業を実施する必要性は高い。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>ICTを用いたデータの可視化システムの設計や、モデル地区における対策の水平展開に向けた今後のコンサルティング等に関しては、有害鳥獣対策への知見が深く、兵庫県内での実施事例のノウハウを持つ兵庫県立大学に委託することで、効果的な成果が得られる。獣害対策に関して、多岐にわたる業務を包括的に委託しており、先進的な有害鳥獣対策の将来的な水平展開を鑑みて、経費は適正であるとする。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>獣害対策には「捕獲」と「防除」の両立が不可欠である。地域の方が主体的に取り組むことができ、その努力が数字に表れるICT機器を活用した対象鳥獣の捕獲数を成果目標として設定することで、地域住民のモチベーションの維持・向上に繋げる。モデル農区での取り組みは兵庫県が実施している「ストップ・ザ・獣害」事業を参考にしており、当該事業の中核を担う兵庫県立大学及び兵庫県森林動物研究センターの協力を得て進めている。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>民・官・学が協働実施しているモデル地区における獣害対策の最終的な目標は、人口減少や高齢化が進む中山間地域において、行政や狩猟者による過度に依存することなく、地域住民による地域主体の獣害対策を実現させることにある。獣害対策を「地域づくり」の一環としてとらえ、多くの関係者の協力を得ながら進めていくことが望ましく、定量的な評価としては捕獲数の増加や被害面積の縮小、被害額の減少が挙げられる一方で、定性的な評価としては地域住民の獣害対策に対するモチベーションの向上や被害地域の住民の当事者意識の改善、獣害対策のワークショップやそれに付随したイベントの実施等による関係人口の増加があげられる。令和3年度において、モデル地区では地域主体で「捕獲」と「防除」を高いレベルで両立することができ、農作物被害の軽減と捕獲数の増加という数字に表れる成果が得られたが、これを継続的なものにするべく、本年度においては地域のモチベーションの維持・向上が課題となる。</p>		
改善策	<p>R4年度においては定期的なワークショップを軸に、各集落への訪問回数を確保し、顔の見える関係性を重視しつつ、各農区長に配布したタブレットへの情報提供を密にするなど、双方向の交流を増やし、ワークショップ等の対面開催が出来ない場合のサポートを充実させるとともに、これまで以上にタブレットへの情報発信を充実させるなど工夫をしていく。また、モデル地区でのICT機器を活用した地域主体の獣害対策を推進し、獣害対策のノウハウを集積することに努めるとともに、出前講座を企画・実施して他地域への水平展開を図る。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>引き続き兵庫県立大学と連携を図りながら、市内3箇所に設定した獣害対策モデル地区においてICT機器等を活用しながら「地域主体の獣害対策」の実施に取り組んでいく。令和4年度に導入した獣害対策可視化システムのアップデートを実施し、獣害対策関係の報告のリアルタイム化、報告書類のペーパーレス化等に向けた実証実験を行う。ICT機器活用の一環としてドローンを導入し、従来のシカ・イノシシ・サル等の追い払いに加えて、カワウ等の獣害対策へ活用する。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	有害鳥獣防除事業			事業コード	210177		
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち		政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立		
	施策名	2 有害鳥獣対策の推進		施策コード	832		
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課		所属長	藤澤 稔		
会計情報	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	
	会計	01 一般会計		決算付属資料	172 頁		
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市鳥獣被害防止計画	
	R4現在の状況	継続中					
根拠法令等	鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律、有害鳥獣防除施設設置事業実施要領、有害鳥獣捕獲施設整備事業実施要領						
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()						
関連事業	有害鳥獣捕獲事業、スマートシティ推進事業(有害鳥獣捕獲)						

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	シカ、イノシシ等の野生鳥獣による農作物等被害を軽減するため、侵入防止柵の設置、鳥獣の捕獲又は追払活動の支援などの防除対策を推進する。						
対象者	総農家数(2020農林業センサスデータ)	対象者数	3,081	単位あたりコスト	5.8		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()						
委託先・実施主体等	福知山市有害鳥獣対策協議会						
事業概要 (箇条書き)	◇野生鳥獣による被害を防止するため、福知山市有害鳥獣対策協議会が実施する侵入防止柵の設置事業、捕獲檻の導入事業、ニホンザルの生息状況調査及び対策支援事業に対して支援を行った。 ◇大丹波地域サル対策広域協議会に所属する関係市町、関係機関との情報共有等を行った。						
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容				
	需用費	136	消耗品購入				
	原材料費	90	ワイヤーメッシュ柵資材購入				
	負担金補助及び交付金	5,908	福知山市有害鳥獣対策協議会補助金、大丹波地域サル対策広域協議会市町負担金				

III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	4,554	1,393	1,700	15,939
	② 補正予算	0	5,315	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①～③)	4,554	6,708	1,700	15,939	
予算財源内訳	① 一般財源	4,554	6,708	1,700	15,939
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	0	0	0	0
決算情報	① 流充用額	△ 1,226	0		
	② 配当予算	3,328	6,708		
	③ 執行額	3,028	6,134		
	④ 執行率	91.0%	91.4%		
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	1.05 / 0.00	1.16 / 1.00	1.16 / 1.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	8,400	11,780	11,780	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	11,428	17,914	11,780	0	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
		野生鳥獣による農作物年間被害額	千円	36921 / 30000	26034 / 31243	34743 / 29247	/ 27251
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	有害鳥獣侵入防止柵設置(協議会事業)	km	21 / 90	21 / 27.9	64 / 44.1	/ 43	5962.4
	単位あたりコスト		37.3	137.6	95.8		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>野生鳥獣による農作物等への被害は、単に農作物等の収穫量が減少するだけでなく、農家の営農意欲や農地保全に大きな影響を与える。このような中、福知山市有害鳥獣対策協議会が実施する「侵入防止柵」の資材貸与は、地元からの要望に基づき事業が進められている。本事業は、このような地元のニーズを的確に捉えた事業を支援することを通して野生鳥獣からの農作物被害を減らすことを目標としており、必要性、優先度ともに高い事業である。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>野生鳥獣対策においては、捕獲や防除を複合的に取り組むことが重要である。このような中、捕獲を効果的に実施するための防除の要となる「侵入防止柵」は、施工性が優れ、長期間の使用に耐えることが必要であり、経費は妥当な水準である。また、実施主体である福知山市有害鳥獣対策協議会は、「侵入防止柵」の発注に当たって競争入札を行っており、コスト削減に向けた取り組みがなされている。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>活動実績は、福知山市有害鳥獣対策協議会の事業実施にかかる指標である。当協議会の事業を推進することで、活動実績が達成され、間接的に成果実績に結び付き、成果目標の達成を図るものである。活動実績は、侵入防止柵等の設置出来形を適切に検査確認し把握している。成果実績は、毎年度、農区等へ調査を行い、実態を把握しているものである。この活動実績指標の推進による投資に対し、成果実績指標の改善効果は、営農が継続される限り続くことが期待でき、投資効果の高い事業であると考えている。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>有害鳥獣対策として捕獲と防除の両面から実施しており、更なる防除対策の実施が必要な状況である。鳥獣侵入防止柵の設置後、効果を持続させるために草刈りや補修等の維持管理を継続する必要があるが、高齢化が進む中、地元の労力確保が課題となっている。</p> <p>R3年度においては、成果実績としている有害鳥獣による農作物年間被害額について、目標を達成することができなかった。この要因としては、イノシシによる被害額が大幅に増加したことによるもので、豚熱の影響が生じた時期(3月)と農繁期、イノシシの出産・子育て時期が重なったことで、農作物被害が集中し、被害額については増加したものと推察している。</p>		
改善策	<p>今後も防除対策に対する国の財政支援の強化を継続して要望する。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--